

金沢医科大学

令和元年度

動物実験に関する情報公開

令和2年7月

動物実験に関する情報公開

令和元年度動物実験に関する自己点検・評価報告	・・・	1～9
動物実験委員会委員構成について	・・・	10
実験動物飼養保管施設	・・・	11
令和元年度教育訓練実績	・・・	12
		以 上

動物実験に関する自己点検・評価報告書

金沢医科大学

2020年 7月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 □ 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 □ 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 金沢医科大学動物実験規程 ・ 金沢医科大学動物実験委員会規程 ・ 動物実験に関する施設利用細則 ・ バイオセーフティ委員会規程 ・ 金沢医科大学特定病原体等安全管理規程 ・ 金沢医科大学病原微生物等安全管理規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） ・ 基本指針及び実験動物飼養保管基準に則した規程等が策定されており、適正に明文化されている。
4) 改善の方針、達成予定時期

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 □ 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 □ 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 金沢医科大学動物実験委員会規程 ・ 金沢医科大学動物実験委員会名簿 ・ 金沢医科大学動物実験委員会議事録
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） ・ 適正に設置されている。
4) 改善の方針、達成予定時期

3. 動物実験の実施体制

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none">・動物実験計画書・動物実験結果報告書・飼養保管施設設置承認申請書・実験室設置承認申請書・動物実験終了・中止報告書・施設等（飼養保管施設・動物実験室）廃止届・動物実験委員会議事録
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <ul style="list-style-type: none">・適正に定められている。・動物実験計画書を現状に合わせたものに改訂されている。・動物死体の処理方法についても動物実験計画書に追加されている。
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p>

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。</p> <p><input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none">・金沢医科大学動物実験標準操作手順書・組換え DNA 実験に関する規程・バイオセーフティ委員会規程・金沢医科大学特定病原体等安全管理規程・金沢医科大学病原微生物等安全管理規程

3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。)

- ・適正に定められている。
- ・麻薬・向精神薬の使用については、行政への必要な手続きの有無を確認し実験を承認している。

4) 改善の方針、達成予定時期

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・飼養保管施設設置承認申請書
- ・実験室設置承認申請書
- ・動物実験終了・中止報告書
- ・施設等 (飼養保管施設・動物実験室) 廃止届
- ・金沢医科大学動物実験標準操作手順書
- ・動物実験委員会議事録

3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)

- ・実験動物の飼養保管体制は適正に整えられている。

4) 改善の方針、達成予定時期

6. その他 (動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果)

- ・胚操作の継続とともに個体復元を開始した。
- ・101 実験室に IVC ラックが導入され、今後 103 実験室もクリーン化する計画である。
- ・動物管理者の負担軽減のため自動給水に向けた取り組みを計画している。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合し、適正に機能している。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・動物実験委員会議事録
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） ・適正に運営されている。
4) 改善の方針、達成予定時期

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・動物実験計画書 ・動物実験結果報告書 ・動物実験委員会議事録
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） ・適正な体制が整っている。 ・動物実験委員会において実験内容および実施結果の審査を行っている。 ・3Rsの理念を遵守し、適正に実施されているかをチェックして、必要に応じて適切な改善の指示を行っている。 ・研究推進課において、動物実験計画書、動物実験結果報告書の提出を確認している。
4) 改善の方針、達成予定時期

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。 □ 該当する動物実験を行っていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・動物個体を用いる組換え DNA 実験（承認済み）報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） ・適正に実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果 ■ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・金沢医科大学動物実験標準操作手順書 ・動物飼育に関する利用申請書 ・飼育状況 搬入・処分数等 ・動物飼育数（臨床研究棟および基礎研究棟） ・搬入動物の微生物学的モニタリング検査結果 ・飼養保管施設の微生物モニタリング検査結果
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） ・基礎棟地下 1 階 101 飼育室に ICV ラックが導入されている。
4) 改善の方針、達成予定時期

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・オートクレーブ点検記録（労基署への報告） ・設置機器（管理維持）ファイル：水処理装置およびイヌオートスクレイパー ・業務日誌（臨床研究棟および基礎研究棟） ・カードキー入退室記録 ・入退室記録ノート ・飼育室の飼育環境記録（温度、湿度、換気等）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） ・適切に維持管理されている。 ・前年度の点検で補修・修繕が必要との指摘があった施設・設備の項目に関して改善がなされている。
4) 改善の方針、達成予定時期

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・組換え DNA 実験・動物実験教育訓練 ・実験動物管理者等研修資料
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） ・適正に実施されており、実施記録も保存されている。
4) 改善の方針、達成予定時期

7. 自己点検・評価、情報公開

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none">・ホームページ・内部点検評価票・動物実験に関する自己点検評価報告書
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <ul style="list-style-type: none">・適切に実施しており、ホームページなどを介して必要な情報公開が順次なされている。
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p>

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

- ・動物施設建設が計画されているが、着工が未定であることから、現状のもとでの対策を行っていることは評価できる。
- ・動物管理室において、技術者資格取得（実験動物 2 級技術者）の技術員が 3 名となり飼育体制が向上している。
- ・新型コロナウイルス感染症対策以下の対応を行った。
 - ① 動物管理者を 2 グループに分けて配置し、感染者発生時に対応できるようにした。
 - ② 餌、床敷などを 3 か月分備蓄するようにした。
 - ③ 入手困難なマスクなどは配給制とした。
 - ④ 次亜塩素酸水を学内に提供した。
 - ⑤ 感染対策のため学内者、学外者ともに施設への立ち入り制限を実施した。
- ・動物実験施設に関しては、昨年度指摘された箇所の改善が行われていた。しかし施設の老朽化などのために、新たな問題点が指摘されている。

○令和元年度

動物実験審査件数 130 件

審査後承認件数 130 件

○年間使用動物数

マウス	10,561 匹	
ラット	1,682 匹	
ハムスター	29 匹	
スナネズミ	11 匹	
ウサギ	200 匹	
モルモット	29 匹	
イヌ	3 匹	計 12,515 匹

令和元年度動物実験委員会委員構成について

動物実験委員会規程区分		所属	専門分野	基本 指針 区分
(1)	共同利用センター長	総合医学研究所	細胞生物学	A
(2)	動物実験等に関する有識者	医学部基礎講座	生理学	A
(2)	動物実験等に関する有識者	医学部基礎講座	解剖学	A
(2)	動物実験等に関する有識者	医学部臨床講座	整形外科学	A
(2)	動物実験等に関する有識者	医学部臨床講座	内分泌学	A
(2)	動物実験等に関する有識者	看護学部	実験病理学	A
(3)	実験動物に関する有識者	総合医学研究所	実験動物学	B
(3)	実験動物に関する有識者	総合医学研究所	実験動物学	B
(3)	実験動物に関する有識者	総合医学研究所	生化学	B
(4)	その他学識経験者	一般教育機構	哲学・倫理学	C
(4)	その他学識経験者	医学部基礎講座	微生物学	C
(5)	その他学長指名者	総合医学研究所	実験動物学	B

基本指針区分：A 動物実験に関して優れた識見を有する者
 B 実験動物に関して優れた識見を有する者
 C その他学識経験を有する者

総合医学研究所 共同利用センター動物実験施設				
建物		部屋番号	飼育可能な動物種	備考
臨床研究棟	7階	731	マウス	
		733	ラット・ハムスター	
		734	ラット	
		保管庫	マウス	
	8階	818	ウサギ・モルモット	
		819	ブタ	
		821	ハムスター・オポッサム	
		822	イヌ	
基礎研究棟	3階	動物飼育室 (動物実験室)	マウス・ラット	
	5階	動物飼育室	マウス	
		動物飼育室 2	マウス、ラット、ヒヨコ	
	新設 1階 地下	101	マウス	
		102	マウス	
	既存 地下 1階	101	ラット	新設101とは別の部屋
		102	マウス	新設102とは別の部屋
		103	マウス	
		104	ウサギ	
		105	ウサギ	
		108	マウス	
		109	マウス	
		マウス室	マウス、スナネズミ	地下1階脳エソロジー室
ラット室		ラット	地下1階脳エソロジー室	
別棟	感染動物室	感染動物飼育室	マウス・ラット	

令和元年度動物実験教育訓練

1. 開催日時及び場所

第1回目	日時：平成31年4月22日（月）	16:00～17:30	講師：大塚
	場所：医学教育棟4階 E4 1 講義室		受講者数：164人
第2回目	録画上映会① DVD		
	日時：令和元年5月17日（金）	15:00～17:10	
	場所：基礎研究棟2階 会議室		受講者数：8人
第3回目	録画上映会② DVD		
	日時：令和元年5月20日（月）	15:00～17:10	
	場所：基礎研究棟2階 会議室		受講者数：5人
第4回目	録画上映会③ DVD		
	日時：令和元年5月21日（火）	13:00～15:10	
	場所：基礎研究棟4階 D4 1 講義室		受講者数：2人
第5回目	録画上映会③ DVD		
	日時：令和元年5月22日（水）	15:00～17:10	
	場所：基礎研究棟2階 会議室		受講者数：7人
第6回目	録画上映会④ DVD		
	日時：令和元年5月23日（木）	16:30～18:40	
	場所：基礎研究棟2階 会議室		受講者数：3人
第7回目	録画上映会⑤ DVD		
	日時：令和元年5月28日（火）	13:00～15:00	
	場所：基礎研究棟4階 D4 1 講義室		受講者数：4人

*ビデオ・オン・デマンドによる教育訓練の実施 視聴後レポート提出：53人

2. 教育研修内容

動物実験実施者の教育訓練及び実験施設に関する説明会

3. 講師

大塚 哲 准教授（共同利用センター動物管理室）